

| 今月の不動産経済 (平成29年4月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	49.7 p	0.3 p ↑
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	15 件	△ 48.3 % ↓
負債総額 ^{*1}	6,936 百万円	△ 9.0 % ↓

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	83,979 戸	1.9 % ↑
持家	23,751 戸	0.8 % ↑
貸家	36,194 戸	1.9 % ↑
分譲	23,708 戸	2.9 % ↑
内マンション	12,097 戸	1.3 % ↑

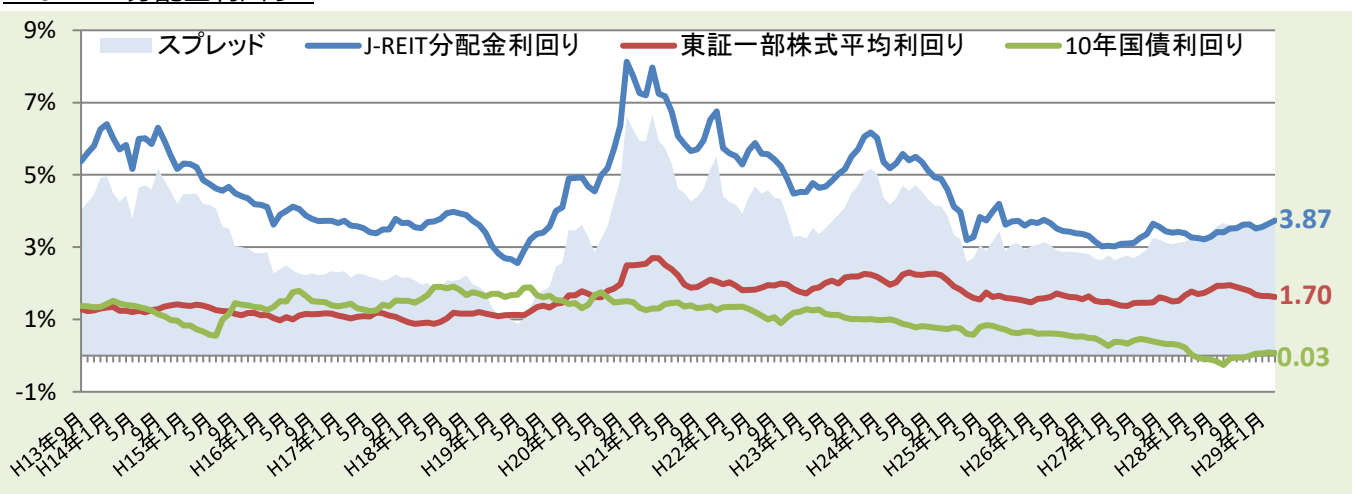
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	2,741 戸	38.6 % ↑
[契約率]	[66.3%]	△ 0.1 p ↓
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,391 戸	5.4 % ↑
[契約率]	[78.2%]	8.2 p ↑
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	3,177 戸	△ 4.1 % ↓
平均価格	3,245 万円	11.2 % ↑
[㎡単価]	[50.4万円]	8.4 % ↑
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,575 戸	0.3 % ↑
平均価格	2,048 万円	4.3 % ↑
[㎡単価]	[29.9万円]	4.5 % ↑
居住用賃貸物件成約数 (首都圏) ^{*5}	30,128 件	△ 5.0 % ↓

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	18,774 円	3.9 % ↑
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	3.39 %	△ 0.21 p ↓

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 0.3P改善し 49.7pとなった。景気判断の分かれ目の50を下回った。

新設住宅着工数は、2ヶ月連続で前年同月比増。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 38.6%増。3ヶ月連続で前年同月比増。契約率は、同 0.1pダウンの 66.3%。

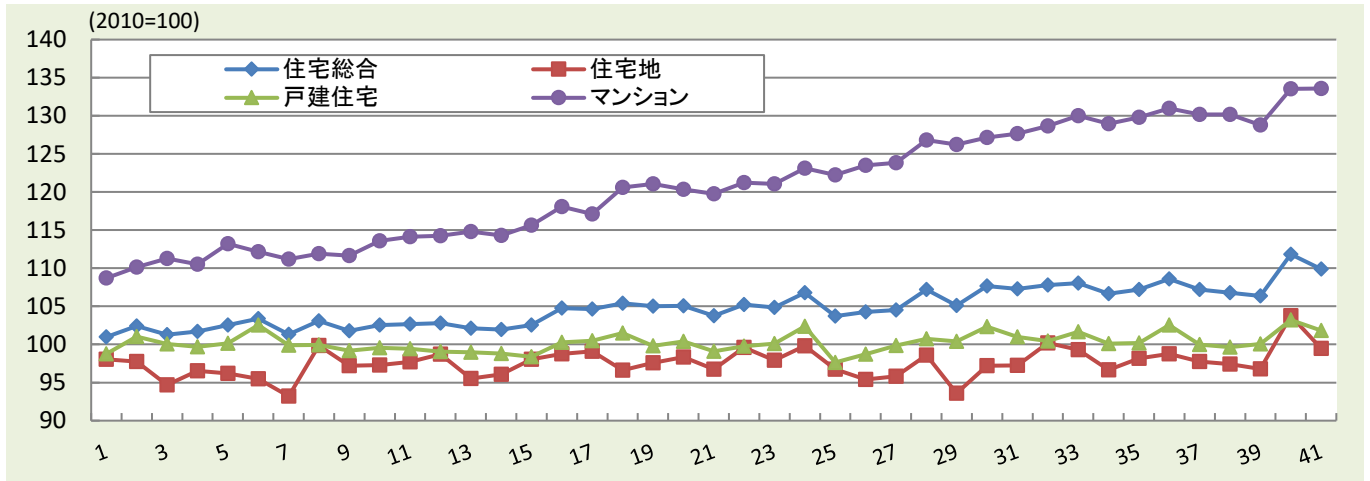
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 5.4%増。3ヶ月ぶりに前年同月比増。契約率は、同 8.2pアップの 78.2%。

首都圏の中古マンション成約件数は 2ヶ月ぶりに前年同月比減。

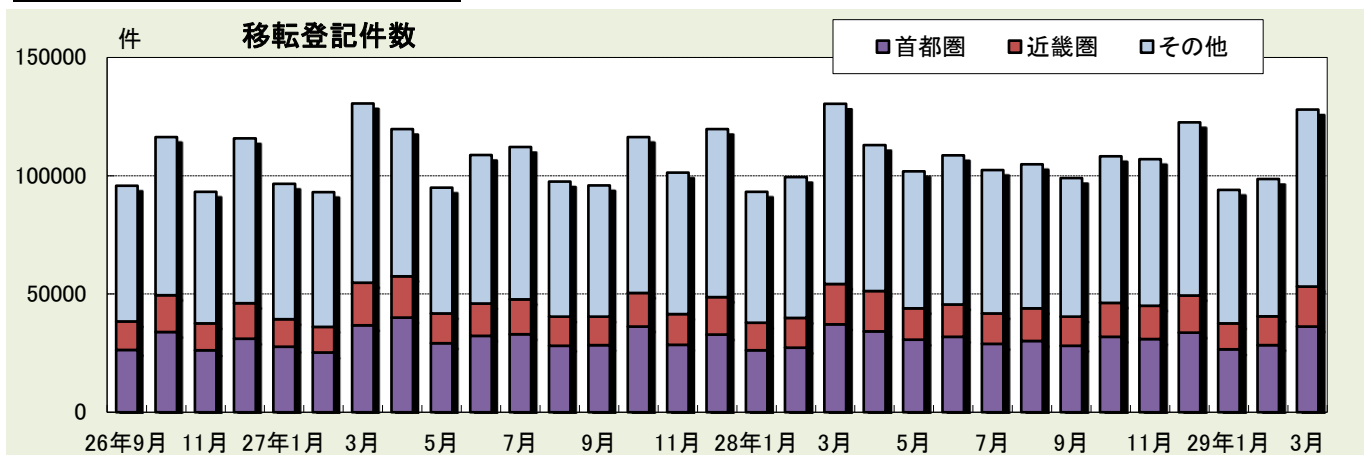
近畿圏は 3ヶ月ぶりに前年同月比増。

都心5区のオフィス空室率は、3ヶ月連続で前月比低下。

● 不動産価格指数（中古住宅）*2



● 売買による土地所有権移転状況*8



*1 帝国データバンク（DIIは0～100、50が判断の分かれ目）

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債金利回り）

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)